

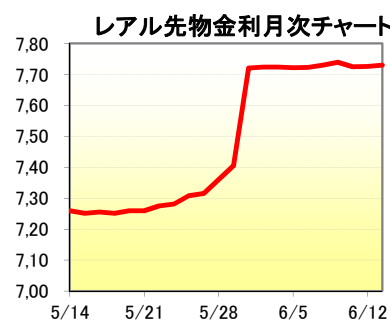
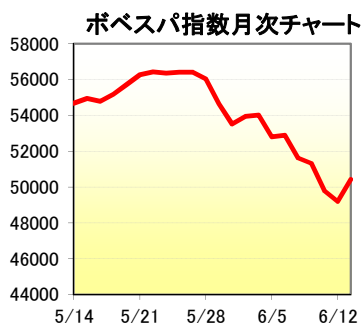
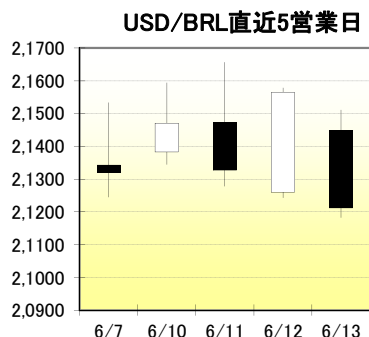
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			6月10日	6月11日	6月12日	6月13日	6月14日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,1470	2,1370	2,1520	2,1400	2,1440	+0,0040
	USD/YEN	Spot	98,93	96,10	95,86	95,53	94,31	-1,2200
	EUR/USD	Spot	1,3259	1,3309	1,3334	1,3358	1,3342	-0,0016
	BRL/YEN	Spot	46,08	45,05	44,46	45,04	43,82	-1,2200
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,26	1,32	1,29	1,20	1,24	+0,0354
		1Year(p.a.)	1,43	1,48	1,43	1,36	1,33	-0,0335
	Real Interest	6MTH(p.a.)	8,61	8,63	8,69	8,65	8,81	+0,1600
		1Year(p.a.)	9,03	9,05	9,27	9,06	9,24	+0,1838
Stock	Bovespa		51.317	49.770	49.181	50.415	49.332	-1.082,55
Bond	CDS Brazil 5y		170,84	178,74	173,02	146,84	150,82	+3,9790
	Global 40		108,750	120,250	120,250	119,750	120,125	+0,3750

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回	
FGVインフレ率-IGP-10(前月比,6月)	0.45%	0.63%	-0.09%	ルセフ伯大統領 ブラジルのインフレはコントロールされている
経済活動指数(前月比/季調済,4月)	0.78%	0.84%	1.07%	
経済活動指数(前年比/季調前,4月)	6.90%	7.30%	1.16%	

3. 要人コメント

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は US\$1=R\$2.1380 で寄り付いた。
- 週初のリアルは大口の資金流出の噂から売りが優勢となり、2.1590 まで売り進まれると、伯中銀により2度に渡るドル売り介入が通知され、リアルは2.13 台前半まで買い戻された。
- 翌11日には日本銀行が政策決定会合で更なる金融緩和拡大策を打ち出さなかったこと等が嫌気され、アジア株が下落。リアルも売りが優勢となり、週間安値となる US\$1=R\$2.1650 を付けた。しかし直後に伯中銀によるドル売り介入が再び見られるとリアルは一気に2.13 台後半まで回復した。
- 週央にかけてはデリバティブ市場における IOF 課税の撤廃への期待感からリアルは買いが優勢となるも、ザラ場では IOF 課税の撤廃は行われなかったことに加えて、米資産購入ペースの減速懸念が再燃し、リアルは2.15 台まで売られた。マーケット時間終了後にマンテガ伯財務相がデリバティブ市場におけるドル売りポジションに掛かる IOF 課税を撤廃すると通知した。
- 翌13日には IOF 課税の撤廃通知を受けてリアルは2.14 台半ばまで反発した後、市場が期待していたような大きな動きとはならず同水準を中心に小幅に推移した。
- 週末にかけてリアルは週間高値となる US\$1=R\$2.1170 を付けたが、その後はポジション調整と思しきドル買いも見られ、リアル2.14 台後半まで反落し、結局 US\$1=R\$2.1350 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
6/17	FGV CPI IPC-S	jun/16	0.47%	0.48%
6/17	貿易収支(FOB)-週次	jun/16	--	\$285M
6/18	FIPE消費者物価指数(週次)	42156	0.17%	0.13%
6/18	IGP-M Inflation 2nd Preview	Jun	0.68%	0.01%
6/20	失業率	May	5.8%	5.8%
6/21	IBGE CPI IPCA-15(拡大/前月比)	Jun	0.37%	0.46%
6/21	IBGE CPI IPCA-15 (YoY)	Jun	--	6.46%
6/21	経常収支(月次)	May	-\$6450M	-\$8318M
6/21	対内直接投資	May	\$3500M	\$5720M

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.11-2.17

今週は国内では市場が期待していたデリバティブ市場におけるドル売りポジションに掛かる IOF 課税の撤廃が通知され、ドル売りポジションを自由に造成することが可能となった。中長期的にはレアル高要因に繋がる可能性がある一方で、足元では米資産購入ペースの減速を巡って世界的にドル高トレンドが見られる中、目先のレアル安抑制効果としては限定的となった。来週は欧米で多くの主要指標が発表されるが、中でも米 FOMC 後のバーナンキ議長の会見が注目されている。QE3 縮小に関するヒントが出されるかどうかに注目が集まっており、内容次第ではレアルを含むエマージング通貨への影響も大きいと思われ、ボラティリティーも高止まることが予想され、引き続き注意が必要であろう。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。